

実施内容報告書

支援先施設	相馬中央病院	実施分野	糖尿病看護
認定看護師	黒澤千工	所属施設	JCHO二本松病院

目 標

糖尿病治療・合併症予防についての知識・技術の習得ができる
多職種での関わり・継続的な看護の実践ができる糖尿病教育入院パスの構築

実施内容

回数 訪問日	実施内容	研修会テーマ	①支援内容 ②アンケートの意見等
第1回 6/20 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせ ・研修会 ・方向性の確認 ・目標設定 ・次回予定の確認 	<p>「あなたも今すぐ糖尿病看護の達人になれる」 参加人数27名</p>	<p>① 研修会：インスリン療法に必要な看護の視点を事例を通して理解してもらう内容とした。またインスリンボールの模型を使い探し方を体験してもらうことで、現場ですぐに実践できるようにした。 支援：現状把握と方向性の統一を行い、目標の設定を行った。 ②座学だけではなく模型を使って実際に体験したことで理解が深まった。</p>
第2回 7/20 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせ ・研修会 ・次回予定の確認 	<p>「知らなきゃ損する糖尿病のはなし」 参加者人数：21名</p>	<p>①研修会：知らないと患者の急変を惹起してしまうことになる合併症について説明した。また看護師が患者の痛みを知ることは看護の質を向上させ、患者の重症化予防につながるため、インスリン注射の模擬体験を実施した。 ②再確認ができ改めてわかった内容もあった。模擬体験をしたことで今までとは違った寄り添い方が出来ると思う。</p>
第3回 8/31 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせ ・研修会 ・カルテ上ラウンド ・患者訪問 ・次回予定の確認 	<p>「高齢者の糖尿病の特徴と目標値」 参加者人数：20名</p>	<p>①研修会：高齢者の糖尿病患者の特徴から目標値の設定、特に注意しなくてはならない低血糖への対応について説明した。 支援：糖尿病教育入院パスの構築に向け、担当者と具体的な動きについての話し合いを行った。カルテ上のラウンドや糖尿病教育入院患者と面会し、関わりや教育内容を把握。多職種で関わるための役割の明確化を行った。 ②糖尿病の悪化は認知症につながることを初めて知った。高齢者が多いので、どうしたら理解してもらえるのかなど勉強になった。</p>
第4回 9/21 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせ ・研修会 ・糖尿病教育入院パスの進捗状況確認 ・次回予定の確認 	<p>「意外とおもしろい！糖尿病治療の最前線」 参加者人数：22名</p>	<p>①研修会：相馬中央病院に採用のある間歇スキャン式持続血糖測定器の説明を行い、認定看護師が関わった事例を踏まえ、どのようにデータを分析するのか、患者の重症化予防につなげているかを説明した。 支援：糖尿病教育入院パスの構築に向け、11月に電子カルテ導入時に必要なことや確認事項などを話し合った。 ②機器を近くで見えて体験できたので患者さんに説明しやすい。糖尿病外来で指導できる。</p>
第5回 11/16 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・反省会 ・打ち合わせ ・研修会 ・まとめ 	<p>「糖尿病フットケア～糖尿病看護特定認定看護師の足を守る取り組み～」 参加者人数：15名</p>	<p>①研修会：糖尿病患者にフットケアが必要な理由と、観察・指導・関わりポイントについて講義を行った。 支援：電子カルテ移行後の状況や今後の方向性の確認を行った。 ②糖尿病外来で患者に声がけしようと思った。患者への支援に積極的に活用したい。実際に活かせる内容であった。</p>